

6. 通常時及び時短要請期間中の営業時間等

- ・ 期間中の営業時間のパターンが5パターン以上ある場合に記入してください。
- ・ 申請書本紙「7. 協力金額」の別記「時短状況」欄に、該当するパターン及び時短比率を記入してください。

パターン

※パターンを区分するための番号を記入してください。

[通常時]

営業時間  
(\*1)

開始

時

分

～

終了

時

分

[時短要請期間中] (5/12～5/31)

営業時間  
(\*2)

開始

時

分

～

終了

時

分

(6/1～8/19)

営業時間  
(\*2)

開始

時

分

～

終了

時

分

\*1, \*2 24時間表記で記入してください。(例：深夜1時→25時)

\*2 休業している場合は、時短要請期間中の営業時間の入力は不要です。

\*3 5/12～5/31は、20時までの時短分が協力金の対象です。  
6/1～8/19は、21時までの時短分が協力金の対象です。  
それ以前に営業を終了した場合は、実際の終了時間にかかわらず通常の営業終了時間から時短要請時間まで短縮した時間となります。

[通常時の営業時間数]

営業時間数  
X<sub>i</sub>

時間

分

[終了時間の短縮] (5/12～5/31)

短縮時間  
Y<sub>i</sub> (\*3)

時

分

(6/1～8/19)

短縮時間  
Y<sub>i</sub> (\*3)

時

分

[時短比率] (5/12～5/31)

時短比率  
Z<sub>i</sub> = Y<sub>i</sub> / X<sub>i</sub>

(6/1～8/19)

時短比率  
Z<sub>i</sub> = Y<sub>i</sub> / X<sub>i</sub>

※少数点第4位切上

パターン

※パターンを区分するための番号を記入してください。

[通常時]

営業時間  
(\*1)

開始

時

分

～

終了

時

分

[時短要請期間中] (5/12～5/31)

営業時間  
(\*2)

開始

時

分

～

終了

時

分

(6/1～8/19)

営業時間  
(\*2)

開始

時

分

～

終了

時

分

\*1, \*2 24時間表記で記入してください。(例：深夜1時→25時)

\*2 休業している場合は、時短要請期間中の営業時間の入力は不要です。

\*3 5/12～5/31は、20時までの時短分が協力金の対象です。  
6/1～8/19は、21時までの時短分が協力金の対象です。  
それ以前に営業を終了した場合は、実際の終了時間にかかわらず通常の営業終了時間から時短要請時間まで短縮した時間となります。

[通常時の営業時間数]

営業時間数  
X<sub>i</sub>

時間

分

[終了時間の短縮] (5/12～5/31)

短縮時間  
Y<sub>i</sub> (\*3)

時

分

(6/1～8/19)

短縮時間  
Y<sub>i</sub> (\*3)

時

分

[時短比率] (5/12～5/31)

時短比率  
Z<sub>i</sub> = Y<sub>i</sub> / X<sub>i</sub>

(6/1～8/19)

時短比率  
Z<sub>i</sub> = Y<sub>i</sub> / X<sub>i</sub>

※少数点第4位切上